

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)	◎	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響がますます強くなり、小売業界においては客の購買意欲は高まってくると思う。
	◎	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が多く、どこも大変な状況だが、先が見えてきていると感じており、これから景気は必ず良くなる。
	○	その他専門店〔酒〕（経営者）	・気温が上がってくると、飲物が売れるのではないかと考えている。
	○	一般レストラン（経営者）	・ワクチンの普及次第だが、東京オリンピックが近づけば少し良くなると思う。
	○	競輪競馬（マネージャー）	・ワクチン接種への期待感があり、景気回復のきっかけとなることが見込まれる。
	○	設計事務所（所長）	・新たな土地を探している客が増えてきており、移転や新築のニーズが高まっている。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス次第だが、これから夏に掛けてのイベント等が、多数中止になっており、観光客も出控えている。また、地元の客も外出を自粛しており、商店街にとってはまだまだ厳しい状態が続くと思う。
	□	商店街（事務局長）	・ワクチン接種の進捗が消費や景気回復への鍵であり、大きく進むことを期待している。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況の悪化が続いている。今のところ効果的な対策はなく、落ち着くことを待つしかない。
	□	百貨店（営業管理担当）	・県内や近県も含め全国的に新規感染者数が急増しており、先行き不透明である。ワクチン接種がまだまだ進んでおらず、規制と解除の繰り返しで状況の改善が見込めない。
	□	百貨店（販売促進）	・ワクチン接種後に自粛ムードが緩和され、好転することを期待している。
	□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	□	スーパー（企画担当）	・ワクチン接種が行き渡り、外出しても感染のおそれがかかなり小さくならないと外食の回復は難しい。そのため、スーパーでの消費は高止まりが続くと推定している。今後、夏のボーナスなどの状況によって消費が進むか、後退するかは不透明である。
	□	コンビニ（店長）	・感染者が落ち着いていた頃は来客数が回復していたが、直近では減少しており、売上も下がっている。このまま一進一退が続くと考えている。
	□	コンビニ（総務）	・今月より良くなる要素がない。依然として来客数減少の状況は変わらず、一昨年の売上には届かないのではないかと考えている。
	□	コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種の見通しが立っていない。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・首都圏での緊急事態宣言もあり非常に厳しい。ワクチン接種が進まない限り回復は難しいのではないかと考えている。人目や感染状況を気にして外出できないという客が多い。
	□	家電量販店（店員）	・しばらく外出自粛が続く自宅内の環境整備に金を掛ける人が増えると予想している。
	□	家電量販店（副店長）	・ワクチン接種を早く進め、新型コロナウイルスの感染が収束しないと客の活気も出てこない。この状況はまだまだ続くと思われる。
	□	乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、このままでは良くなるのは難しいと思う。
□	乗用車販売店（従業員）	・ワクチン接種が始まり、感染の不安は軽減されると思うが、景気回復にはまだまだつながらない。	
□	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が更に増加している状況では、短期間での改善は望めない。	
□	乗用車販売店（役員）	・ワクチン次第だと思う。7月から一般にも接種が開始されるという報道があるので、期待している。	
□	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種の見通しが依然として立たず、安心して外出する気にならない。コロナ禍が収束するまで、景気は上向かない。	
□	旅行代理店（営業担当）	・感染再拡大の状況を見ると、業界が復活できる雰囲気は全くなく、客も旅行に行く気分になれない。県境をまたぐ移動自粛もしばらく続くと思う。	
□	通信会社（営業部長）	・コロナ禍の間は規制が続くと思われ、大きな変化はないと思う。	

	□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大などで客の動きが鈍化する。
	□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であり、ゴールデンウィークに客が増えるのか減るのか分からない。
	▲	商店街（代表者）	・ワクチン接種がまだまだ進んでいない状況であり、レジャー産業は厳しい状態が継続すると予想する。
	▲	商店街（代表者）	・地方都市では流通業界で長く主役であったデパートが存続できない時代になっている。ショッピングセンターやコンビニにしても過剰であり、ネット販売にも対応できていない。少子高齢化は加速度を増しており、新たな時代の街づくりへの発想転換がどこまで可能かが重要である。しかし、挑戦しなければ街や地方都市の存続すら難しいと思う。
	▲	一般小売店〔生花〕（経営者）	・この先の予約が母の日ギフトしか入っていない。緊急事態宣言が解除されても、地方は都会のように人通りが戻ってきそうにない。
	▲	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことにより、外食に再びシフトし、内食に伴う需要が減少する。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・今月の感染者数も依然として多く、医療もひっ迫しているとの報道が続いていることから、人々の警戒感強く、景気の回復は厳しいのではないかと考えている。
	▲	一般レストラン（経営者）	・ワクチンが行き渡るまでは収束はないと思う。
	▲	タクシー運転手	・当地域も変異株を含む新型コロナウイルスの第4波で感染者数が少しずつ増加している。前年の4～5月の状態と比較しても良くない。また、5月の連休以降も客が目減りすると思う。また、ホテルの予約状況、航空会社の予約状況も一昨年からいうと40%維持できるかどうかという数字なので、タクシー業界も厳しいと判断する。
	▲	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの変異株がまん延しており、経済活動が停滞する可能性が高い。
	▲	通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の影響が懸念される。
	▲	観光遊園地（職員）	・感染対策期への移行に伴い、飲食店などでは時短営業を余儀なくされ、その余波が関係業種にも多大な影響を与えることが予測される。
	▲	美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響で悪くなる。
	×	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、飲食店へ納品している業務用個人商店の売上回復は望めない。
	×	コンビニ（店長）	・前年より身近なところでの感染者が多く、特に変異株の拡大が報道されていることもあり、人々の警戒感強く、当面回復は見込めないと思われる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・再び緊急事態宣言が発出され、新型コロナウイルスの感染再拡大の影響がまだまだ続いており、販売量が減少している。
	×	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、サービス産業の回復はない。
	×	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには宿泊業は良くならない。先行きが全くみえないという今の国の在り方に非常に不信感がある。
企業 動向 関連  (四国)	◎	—	—
	○	木材木製品製造業（営業部長）	・大手ハウスメーカーの受注推移をみると良くなってきているが、新型コロナウイルスの影響を受けて木材の高騰が進んでいる。この影響が住宅着工数に大きくマイナス影響を及ぼすと思われる。
	○	一般機械器具製造業（経理担当）	・依然として厳しい状況であるが、一部地域では政府による経済対策としてのインフラ投資及び再生可能エネルギー関連プロジェクト等により、客の投資マインドに回復の動きがみられる。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、大小様々な企業が一喜一憂していると感じる。
	○	建設業（経営者）	・来月には公共工事が多く発注されるかもしれない。
	○	通信業（企画・売上管理）	・東京オリンピックの開催に向けて景気の上向きが想定されるが、新型コロナウイルスの影響で中止ということになればその見通しは崩れる。

	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で、除菌や掃除用のウェットクリーナーの需要はあるが、供給量も多いので売上がそこまで伸びていない。マスクはインバウンドがいなくなったので、売行きが悪い。
	□	化学工業（所長）	・新型コロナウイルスの影響や原油とナフサ価格の変動で、不安定な時期が継続すると予想する。
	□	鉄鋼業（総務部長）	・先行き不透明で、まだまだ受注回復の兆しは見えていない。
	□	電気機械器具製造業（経理）	・特需による販売が落ち着いてきた。
	□	建設業（経営者）	・公共事業が予定どおり執行されると景況感は好転するが、新型コロナウイルスによる活動制限が景気を悪化させている。現時点では良くなるとは評価し難い。
	□	輸送業（経理）	・国内の新型コロナウイルス感染者数が増加しており、先行きが不透明である。
	□	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの感染の繰り返しにより、消費者動向や企業活動の大幅改善は見込まれない。
	□	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種の予定が遅れているため、集団免疫状態になる予想が遅れている。夏頃のイベント等も中止になる予定であり、販売促進広告も慎重になっていることから、当面は従来と変わらない予想である。
	□	税理士事務所	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、変化がみられない。
	▲	農林水産業（職員）	・ワクチン接種が一定程度進むまでは国民の安全、安心感は生まれない。医療従事者や高齢者への接種は、計画より1か月以上遅れており、国民全体への接種は早くて年末、年越しも想定される。現在都市部では第4波が来ており、今後、地方へ拡大する。消費活動は国民が安心して外出できる環境にならないと活発化しないことから、当面は経済活動の自粛が続き、農産物の取引も業務需要による押し上げが期待できないことから、家庭消費主体の低調な価格推移が続く確率が高い。
	▲	食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言の発出により、外食、観光業における売上の減少が懸念される。
	▲	繊維工業（経営者）	・既存取引小売店からの受注は減少したものの、多くの小売店が厳しい店頭売上のなか、取扱商品を見直したことにより、新規取引先が増えている。しかし、今年もゴールデンウィークは休業店が多い見込みであり、当分の間は厳しいと思われる。
	▲	輸送業（営業）	・再三の緊急事態宣言発出等、政府施策がマンネリ化するとともに、感染防止対策への意識が薄れていくなか、新型コロナウイルス変異株の拡大は短期間では収まらないとの見方が強い。消費の回復による店舗を介した取扱物量の増加が期待できないことから、前年よりも厳しい状況が続く。経営に深刻なダメージを及ぼすような状態に陥るのではないかと危惧している。
	▲	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響を比較的受けにくい業種ではあるものの、第4波に伴う各種施策の影響が読み切れない。
	×	輸送業（経営者）	・先は見えていると感じるが、2～3か月は悪い。
雇用 関連	◎	—	—
	○	—	—
(四国)	□	人材派遣会社（営業担当）	・コロナ禍における取引先の営業が未知数のため、良くも悪くも静観する。
	□	求人情報誌製作会社（従業員）	・ゴールデンウィーク明けに求職者数は増えると予想されるが、新型コロナウイルスの影響で求人数の増加が見込めない。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・引き続き採用の動きは停滞するように感じる。
	▲	人材派遣会社（営業）	・新型コロナウイルスの感染は出口がみえない状況であり、密集施設への外出訪問、県をまたいでの往来自粛はまだ続くと考え。飲食、レジャーなどサービス関連事業へのニーズが高まるまでには時間が掛かると推測する。雇用についても求人ニーズはまだ様子うかがう状態が続くと思う。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、景気回復は難しいが、収束すれば、消費が上向き、落ち込んでいた前年を上回る可能性はある。

▲	職業安定所（求人開発）	<ul style="list-style-type: none"> <li>当県全体で変異株による感染者数の増加に歯止めが掛からず、ゴールデンウィーク中も外出自粛が呼び掛けられる事態となっているため、飲食業や旅行業などは業績回復の見込みが立たない状態である。当地域はまん延防止等重点措置が適用され、時短営業しない事業所に対して罰則規定が設けられるなど厳しい状態となっている。回復には更に時間が掛かり、一方で巣籠り需要も急激に伸びるとは思えないことから、景気はやや悪くなると思う。</li> </ul>
▲	学校〔大学〕（就職担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの第4波の収束が見通せないため、3か月先の景気も不透明である。</li> </ul>
×	人材派遣会社（営業担当）	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響で景気はますます悪くなり、派遣の需要が減っている。求人の登録数が増えてこないため、低迷が続く。</li> </ul>
×	求人情報誌（営業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでは、直接的に新型コロナウイルスの影響を受けている業界で求人が激減し、不景気を実感していた。しかし、介護業界など常に求人難の業界を除いて、製造業など間接的にしか影響を受けない業界でも求人が減ってきていることから、景気は悪化すると判断する。</li> </ul>